

大里中学校 社会科シラバス 2 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「中学生の地理（帝国書院）」
「中学生の歴史（帝国書院）」

〔地理〕中学1年で学んだ世界地理の知識を基礎として、日本の地理的特色を比較、理解する。また、日本の地域的な特色がどのように変容し、課題を抱えているか、身近な地域との関わりを通して、主体的に追究する。諸資料を適切に選択して読み取る力も身につける。

〔歴史〕中世後期には産業が発達し、民衆の力が成長を見せる一方、各地で戦乱が広まり社会が大きく変化した。近世の日本は、ヨーロッパ世界と接触する中で社会が大きく変化し、欧米諸国から「近代化」の影響を受け、日本も近代国家としての基礎が整えられたことを理解する。時代ごとの特色や背景を考察し、現代の日本とのつながりを追究する。

2 授業の進め方

- (1) 授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしよう。
- (2) 単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。
- (3) 電子黒板を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。
- (4) テレビや新聞、SNS等の社会で起きた問題(ニュース)を通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。
- (5) アクティブラーニング型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。

3 学習上の留意点

- (1) 基本的な事項を『理解』『知識』として身につける。(地域の特色、時代の特徴 等)
 - (2) 教科書や地図帳等にアンダーラインをつけたり、ノートに自分なりにメモをとるなどしてまとめ、家庭学習で復習をしよう。
 - (3) 地図・統計資料・史料から何が読み取れるのかを考え、説明できるようにしよう。
 - (4) 世界で起きている出来事や身近な事柄と関連比較し、当事者意識をもち、主体性をもって学習しよう。
- ※授業前の準備・授業中の態度をしっかりとできていることが前提です。当たり前のことを当たり前にしよう。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- (1) データベースの問題を活用し、プリントで内容を振り返るなど自主学習に取り組みましょう。
- (2) 単元テストを通して授業の理解度を把握し、分からない所などは先生や友達に聞くなどしてノートにまとめよう。
- (3) タブレットを活用し、スタディサプリなど動画視聴や問題に意欲的に取り組みましょう。

5 単元テスト

- ・授業で扱った事項、および時事問題など試験範囲で提示した範囲から出題されます。
- ・統計資料や史料などを用いた思考力・判断力を問う問題を出題します。

※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	地理・歴史や現代の政治・経済国際関係等に関して理解しているか。 また、様々な情報を効果的に調べまとめる力を身につけているか。	社会的に起きた出来事の意味や意義、特色について多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論する力を身につけているか。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする姿が見られるか。
方法	評価内容の項目ごとの満点に対して A：83%以上 B：50%以上83%未満 C：50%未満 (1) ノート (2) プリント (3) 単元テスト	評価内容の項目ごとの満点に対して A：83%以上 B：50%以上83%未満 C：50%未満 (1) ノート (2) ICTの思考ツール (3) 単元テスト	評価内容の項目ごとの満点に対して A：83%以上 B：50%以上83%未満 C：50%未満 (1) 単元を貫く問いに対する振り返り (2) 主体的な学習への取り組み

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ループリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	【地理的分野】 第2章 日本の地域的特色	・単元テスト ・ミニテスト ・学びに向かう姿勢 ・各種提出物（ノート・課題プリント等）	・日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解する。 ・九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みにおける課題と、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応に関連付けて考察し、表現する。 ・地図や資料から、中国・四国地方は交通・通信網による発展、近畿地方は自然環境や歴史的景観の保全を中心に、それに関連する産業や生活の変化について理解する。また、それぞれの地域の特性から多面的・多角的に考察する。
	5			
	6	第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方		
	7	第2節 中国・四国地方 第3節 近畿地方		
2 学期	8	第4節 中部地方	・単元テスト ・ミニテスト ・実力テスト ① ・学びに向かう姿勢 ・各種提出物（ノート・課題プリント・夏休み課題等）	・中部地方は三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景を、関東地方は、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を、地図や統計などから読み取る力を身に付ける。 ・東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を地図や写真などから読み取り、地域的特色や課題の解決法を考察する。北海道地方は、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解する。 ・江戸幕府の成立から江戸時代初期の政治・外交を学ぶ。 ・貨幣経済の広まりと、諸産業、交通について学ぶ。 ・享保期からの社会変化に対する諸改革のそれぞれの違いを把握する。
	9	第5節 関東地方		
	10	第6節 東北地方 第7節 北海道地方		
	11	【歴史的分野】 第3章 武家政権の展開と世界の動き		
	12	第3節 武士による全国支配の完成 第4節 天下泰平の世の中 第5節 社会の変化と幕府の対策		
3 学期	1	第4章 近代国家の歩みと国際社会	・単元テスト ・ミニテスト ・実力テスト ② ・学びに向かう姿勢 ・各種提出物（ノート・課題プリント等）	・開国要求が強化されていった背景とそれに伴う幕藩体制の求心力の低下を理解する。 ・自由民権運動から憲法制定、国会開設の経緯を理解する。 ・日清・日露戦争に至る過程と経緯、その後の影響を学ぶ。
	2	第1節 欧米諸国における「近代化」		
	3	第2節 開国と幕府の終わり 第3節 明治政府による「近代化」の始まり		